

## 川崎小学校区で意見交換会を開催しました

市教育委員会の諮問機関である「学校再編計画策定委員会」が、令和2年10月26日、榛原文化センターにて、川崎小学校区の方を対象とした意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、学校再編計画策定委員会が、再編に関し、これまで検討してきた考え方を市民に示して意見を聴き、それを踏まえて素案をつくるために開いたものです。

目指す学校像、学校区、学校の場所などについての案と考え方を伝えたあと、市民ファシリテーターの進行により、参加者がグループワークを行い、さまざまな意見を出し合いました。

参加者からは、牧之原市に2校という案に賛成の意見が多く、「さまざまな人とふれあうためにはある程度の人数が必要」「先生たちの目が届く規模」などの理由が挙げられました。一方で、登校方法の不安や人間関係で悩んだときに逃げ場がないのではないかと、という声も聞かれました。

質問としては、「2校となった場合、交流はあるのか」「学校を建設する際の費用はどれくらいか」などが挙げられました。学校間の交流については、具体的に決定するのは学校数や立地場所が決まった後となりますが、2校間の連携をとり、牧之原市として一体となれるようなプログラムを考えていきたいと回答しました。

また、建設費用については、国庫補助金の利用や、現在の世代から将来の世代にわたって分割払いしていく方法を説明しました。

限られた時間の中ですが、参加者からたくさんの意見をいただくことができました。当日、時間の関係で回答ができなかったものも含め、質問への回答については、9小学校区の意見交換会の質問をまとめてホームページで公開していきます。



資料説明中の会場の様子



グループワークの様子



各グループの発表